

Program

シューベルト:ピアノ・ソナタ 第21番
変ロ長調 D 960
Schubert:Sonate für Klavier Nr.21 B-Dur D 960

シューマン:4つの夜曲 Op.23
Schumann:4 Nachtstücke Op.23

ショパン:ピアノ・ソナタ 第3番
ロ短調 Op.58
Chopin:Sonate no.3 G-moll Op.58

Igor Levit

イゴール・レヴィット

—— ピアノ・リサイタル ——

2025.

11.26 (水) 19:00開演 18:20開場 21:00終演予定 東京オペラシティ コンサートホール

7:00 p.m., Wednesday, November 26, 2025 at Tokyo Opera City Concert Hall

京王新線「初台駅」東口徒歩5分

S¥9,000 A¥7,500 B¥6,000 ※チケット料金には消費税が含まれております。

※ 特別割引料金については裏面をご確認ください。 ※ 先行発売で満席となった場合は、以降発売されない場合がございます。

[お申込み] ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

◎ 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 ◎ チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:299-532]

◎ イープラス eplus.jp ◎ ローソンチケット l-tike.com [Lコード:33672]

主催: ジャパン・アーツ 共催: 公益財団法人東京オペラシティ文化財団

一般発売 6.28 (土)

ジャパン・アーツぴあオンラインチケット: 6月21日 (土)

©Peter Rigaud

初めてイゴール・レヴィットの公式ウェブサイトを開いたとき、ドキッとした。そこには彼の演奏姿の写真のうえにこう記されていた——「Igor Levit - Citizen. European. Pianist.」。

ロシア生まれドイツ育ちの天才ピアニストは、複雑に動き続けるこの社会のなかで、ピアニストとして、ヨーロッパ人として、そしてひとりの市民として自らの責務は何かということ問い続けながら活動している。単に美しく上質な演奏を行なっているだけではない。音楽のあり方そのものをも問うている。たとえばパフォーマンスアーティストと協働した公演ではコンサートの構造自体を転換させるような前衛的な試みをしたし、これまでにリリースしてきたアルバムでは哲学的な問いを立てたプログラムを組んできた。

今回の来日公演では、有名作曲家たちの名前が並ぶ。一見すると単なる名曲プログラムのように思えてしまうかもしれないが、そうではない。ザルツブルク音楽祭などでも同様のプログラムが組まれている。練りに練ったものなのだろう。この選曲にはなんだか恐ろしい、直截的ではない死の気配が、薫りが、漂う。

まずはシューベルト最後の《ピアノ・ソナタ第21番》だ。これは「ふつうの曲」ではない。美しい音楽の合間に覗かせる、真っ黒な深淵。静謐で長大なソナタだ。聴き手も集中力を必要とされるだろう。

続くのはシューマンの《4つの夜曲 Nachtstücke》op.23。ロマンチックな夜想曲のイメージとは異なる作品だ。冒頭、葬送行進曲のようなリズムで下降し続けるところから始まる。当初は「葬列の幻想」と名付けようとしたが、E.T.A. ホフマンの同名の小説『小夜物語 Nachtstücke』（1817年）に着想を得て、このタイトルとなった。

そして、ショパンの最後の《ピアノ・ソナタ第3番》である。名曲にして、大曲。レヴィットはこれまでショパンを選んでこなかった。公式の場でショパンを演奏するのはなんと今年が初めてだという。

レヴィットは真の芸術家である。彼はなぜ今年の夏秋、このプログラムで世界をまわろうとしているのか。大曲が並ぶから聴き手のこちらも気合が入る。その真価をホールで体験することが楽しみでならない。

布施砂丘彦（音楽批評家）

イゴール・レヴィット(ピアノ) Igor Levit, Piano

俊敏で批判的な精神を持ち、芸術を社会的な出来事と深く関連させて捉えるレヴィット。ニューヨーク・タイムズ紙は彼を「同世代で最も重要なアーティスト」と評価した。ハイデルベルク春の音楽祭の共同芸術監督を務め、ルツェルン音楽祭では25年で3回目となるピアノ・フェスティバルを立ち上げた。2024-25年は、ウィーン楽友協会やベルリン・フィルハーモニー、カーネギーホールなどでリサイタルが予定されている。録音では、2019年にベートーヴェンの全32曲のソナタ集で高い評価を得た。2023年10月のハマス攻撃に対して、メンデルスゾーンの「無言歌」のセレクションをレコーディング。24年10月にはティエリマン指揮、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とのブラームスのピアノ協奏曲のライブ録音をリリース。1987年、ニジニー・ノヴゴロド生まれ。8歳のときに家族と共にドイツに移住。ハノーヴァー音楽演劇メディア大学で学ぶ。2020年10月、ドイツ連邦共和国功労勲章を授与された。

〈特別割引チケットのお知らせ〉 ジャパン・アーツびあにて受付

- ◎シニア・チケット：公演日当日65歳以上の方はS席を8,100円(税込)でお求めいただけます。
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあホールセンターのみで受付)

〈次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください〉①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。指定のお席でご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。